

開講科目名 / Course	病理学総論	
ターム・学期 / Term・Semester	2026年度 / Academic Year 2 学期 / Second	
開講区分 / semester offered	2 学期 / Second	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	1	
主担当教員 / Main Instructor	定金 香里	
担当教員名 / Instructor	定金 香里	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	10	
科目の目的と概要	<p>病理学は、病気の実態を明らかにするために、発症原因やそのしくみ、病状の経過、さらに病気がたどる最終的な結末に至るまでの一連の過程を探究する学問である。病理学総論では、病気の原因とそれに対するからだの反応、ならびに病状の進展過程について、各臓器に共通する一般的な原理や法則を学ぶ。病気を理解し診断につなげるためには、まずその病気がどのようなカテゴリーに属するのかを大まかに把握することが極めて重要である。本科目では、講義に加えて十分な時間をかけて病気の概念や発症機序を理解することにより、次に学ぶ病理学各論への円滑な移行を図るとともに、看護実践において必要となる症状の理解や診断・ケアの基盤を形成することを目的とする。</p>	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 病気がどのような病因・病態のカテゴリーに属するかを判断できる。</li> <li>2. 身体に生じる病的変化の原因を、病理学的観点から説明できる。</li> <li>3. 病的変化に対するからだの反応および病状の経過を、総論的に説明できる。</li> </ol>	
DPとの対応	2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>01. 病理学で学ぶこと</li> <li>02. 細胞・組織の損傷と修復、炎症</li> <li>03. 免疫、移植と再生医療</li> <li>04. 循環障害（1）：浮腫、充血、うっ血、出血と止血、血栓症、塞栓症、虚血と梗塞</li> <li>05. 循環障害（2）：側副循環障害、高血圧症、播種性血管内凝固症候群、ショックと臓器不全</li> <li>06. 代謝障害（1）：脂質代謝障害、タンパク質代謝障害</li> <li>07. 代謝障害（2）：糖質代謝異常、そのほかの代謝障害</li> <li>08. 先天異常と遺伝性疾患</li> <li>09. 腫瘍</li> <li>10. 生活習慣と環境因子による生体の障害</li> </ol>	
その他の授業の工夫	講義内容の定着を図るため、講義後に病理学的思考を促す演習問題を教員が作成し、復習を通して病態の理解を深める。	
時間外学修	<p>事前学習：教科書の講義箇所を事前に読み、病態の概要や主要な用語を把握して講義に臨む（4h）。</p> <p>事後学習：教科書および配布資料・講義ノートを用いて病的変化のしくみを整理し、演習問題を通して病理学的理解の定着を図る（15h）。</p>	
評価方法と評価割合	<p>筆記試験100%（100点満点で60点以上を合格とする）。</p> <p>なお、定期試験の受験資格および単位認定については、学生便覧に定める学修評価の要件を満たすことを前提とする。</p>	
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進[1] 病理学（医学書院）	
参考書	<p>カラーで学べる病理学（ヌーヴェルヒロカワ）</p> <p>系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進[2] 病態生理学（医学書院）</p>	
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	無
	内容	
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容		